

## Parkview Health との医療交流を終えて

2017年10月23日から27日までの5日間、フォートウェイン市にある Parkview Health において医療交流（現場研修）を行いました。

私は理学療法士と高岡市民病院の一管理職という立場で、最先端のがん治療の実際や、病院内の各部門におけるシステムやその運用等を客観的に見てきました。

がん患者に対するリハビリテーションでは、乳がん手術前後の浮腫管理や、前立腺がん等手術後の尿失禁に対する骨盤底筋群トレーニングが積極的に行われていることに驚かされました。米国では医療費抑制のための施策として、日本以上に予防に対する取り組みが徹底されています。診療報酬体系の違いから、直ぐに当院で実施することはできませんが、がん治療の中の重要な部分であると感じました。

病院全体の特徴として、急性期に特化していることや職員の数（常勤・非常勤含め）が非常に多いということが言えます。効率よく仕事を行う（迅速な救急対応、快適な治療環境の提供、最適な治療立案、治療実施）ためにどうすれば良いか？という視点から、仕事の細分化が加速したためだと思います。ただ、各個人のやるべき仕事は明確であり、その仕事には、自信と責任を持って取り組んでおられました。まさにスペシャリスト集団という感じでした。

また、医療機関という特殊な場所にも関わらず、患者・家族、職員が常に笑顔であり、当院においても見習うべき点があるように思いました。

英語でのプレゼンテーションなど、研修スケジュールはタイトでしたが、有意義な時間を送ることができました。今後は、今回の研修で感じたことを当院でも生かせるよう努めたいと思います。

最後に、このような機会を与えて頂いた高岡市民病院、高岡市役所の関係者、フォートウェイン姉妹都市交流、Parkview Health の関係者の方々に深く感謝いたします。

2017年12月

高岡市民病院 リハビリテーション科長

高畑 芳信